

ベトナム 通信環境（1/2）

おもな通信手段が携帯電話となっているベトナムでは（図表・5）、2000年代に入って多くの携帯電話の通信キャリアが設立され、2007年にWTOに加盟して国営の通信キャリアの株式会社化や外資参入への規制緩和が進んでおり、携帯電話会社間の競争が激しくなっている（図表・14）。ベトナムの携帯電話の通信キャリアはサービスの向上と料金の引き下げ等に積極的に取り組んでおり、これが携帯電話の普及を促進していると考えられる。

2010年12月時点のベトナムの携帯電話のシェアを見ると、Viettelが最も高く（37%）、次いでVNPTのMobiFoneとVinaPhoneがそれぞれ29%となっており、これら3社で95%のシェアを有している。ベトナムの携帯電話のシェアの大半を占めるViettelとMobiFone、VinaPhoneは現在主流の通信サービスである3G免許が交付され、さらに動画やゲーム等を快適に利用できる高速通信サービスである4Gの実証実験を開始していることから、ベトナムの携帯電話が使用する通信環境は一定の速度が確保されていると考えられる。

ベトナム 通信環境 (2/2)

図表・14 ベトナムの通信キャリア

企業名		携帯電話企業		通信方式	3G (注1) 免許交付	4G (注1) 実証開始	シェア (注2)
固定電話	携帯電話	設立年	形態				
ベトナム郵政通信グループ (VNPT)	VMC (MobiFone)	1993年	BCC(注3)	GSM	○	○	29%
	GPC (VinaPhone)	1996年	100%出資	GSM	○		29%
Saigon Psotel	S-Fone	2003年	BCC(注3)	CDMA	—	—	—
Viettel		2004年	—	GSM	○	○	37%
EVN Telecom		2006年	—	CDMA	○ (共同企業体)	—	2%
Hanoi Telecom	HT Mobile	2007年	BCC(注2)	GSMに移行			—
Global Telecommunication-ications	G Tel	2009年	合併	GSM	—	—	—
—	Indochina Telecom	2009年	—	—	—	—	—
VTC Telecom	Vietnam Multimedia Corp.	2010年	—	—	—	○	—
FPT Telecom	—	—	—	—	—	○	—
CMC Telecom	—	—	—	—	—	○	—

注1：3Gは第三世代携帯電話、4Gは第四世代携帯電話。

注2：シェアは、2010年12月時点。

注3：事業協力契約 (Business Cooperation Contract)。ベトナム企業と外資系企業が権利義務関係を取り決め、ベトナム計画投資省 (Ministry of Planning and Investment : MPI) の許可を得て事業を開始する形態。法人は形成されない。

出所)「アジア情報化レポート2013 ベトナム」(国際情報化協力センター)を基に作成